



# くぎかいだより

NO. 224  
発行/北区議会  
〒114-8508  
東京都北区王子本町1丁目15番22号  
TEL.(3908)1111(大代表)



## 第3回定例会を開会

平成20年度各会計決算を認定しました

意見書

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書を可決しました

### 今回の写真は

#### 飛鳥山公園モノレール

飛鳥山公園モノレールは、高齢者、障害者や小さなお子様連れなど誰もが飛鳥山公園を利用しやすくするために、公園入り口から飛鳥山山頂間に設置した無料の昇降設備です。

王子1-1-3 (飛鳥山公園内)

平成21年第3回定例会は、9月11日に招集され、29日間の会期で10月9日に閉会しました。

9月11日、6名の議員が財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・個人質問を行いました。

今回、区長から提出された議案等22件、議員から提出された議案1件、請願・陳情3件を議決しました。

### 224号 目次

代表質問	2・3
個人質問	4
議会の動き	4
議決した議案等	5
決算に対する態度	6
委員会トピックス	7
請願・陳情の結果	8
可決した意見書	8
次回定例会案内	8

### 各会派の代表質問

#### 暮らし、環境をまもる北区政を 滝野川地域のまちづくりについて



日本共産党北区議員団  
八巻 直人

**問** 暮らし、環境をまもる施策に対する国や東京都への働きかけについて、北区政と区長の認識を問う。

**答** 区民の暮らしを守り、豊かさを感じられる地域社会を実現するため、必要に応じて国や都に要望していく。緊急雇用等補助金活用事業の応募資格、事業内容をわかりやすく周知すること。ハローワークの活用による募集の公開と、区ホームページへの掲載を実施している。今後も公開に努める。



LED化する商店街のアーチ

**問** 制度融資への利子補給を拡充するとともに、返済期間延長等の改善で中小企業の営業をまもるよう求める。

**答** 実施中の緊急景気対策融資制度は非常に厚い内容。当面は現行どおり運用し、今後景況や他区の動向を注視し、必要に応じて検討する。商店街の経費負担軽減のため、イベント事業の補助金の一部を前払いに。イベントに取組むことは重要。区として前払いの実施に向け検討を進めている。

**問** ホームヘルパー等の利用料軽減やデイサービス等の食費補助等の負担軽減策を実施するよう求める。

**答** 区では、都の制度を利用して生活困難者に対する軽減策を実施している。新たな軽減策は他区の事例も参考に、検討を進めていく。保育室に対する現行補助制度を一層拡充し、保育室が認定保育所へ移行を希望する場合、条件整備と積極的援助をすることを求める。保育室については、都は保育サービス水準の向上を目指す。

**問** 改修経費補助等の支所への移行を進めている区としても、都の移行方針を踏まえて対応していく。

**答** 隣接の小中学校、区民施設、災害時避難場所確保のため、滝野川六丁目超高层マンション計画の再検討を事業者に指導するよう求める。超高層マンションの計画は、土地の有効利用と周辺の居住環境の保全、良好な街並み景観の形成と整合を図ることが重要と認識。

#### 区財政の強化策について マンション対策について



公明党議員団  
上川 晃

**問** 区所有機器保守の一括契約の推進・一般競争入札の導入等、全庁的に経費削減に取り組むことを求める。

**答** 徹底的な見直しにより、新しい経済環境下において、経費削減努力が不可欠と認識。提案の削減策を含め効果的な契約方法を工夫し、全庁をあげ経費削減を進める。マンションの抱える課題解決のため、地デジや電波障害対策、共同受信設備の更新等の相談窓口の設置を。今年2月に「分譲マンション管理セミナー」を開催。

**問** 個別の問い合わせには案内省のコールセンターを案内。今後の確かな支援に努める。新学期とともに新型インフルエンザの感染が本格化した場合の対応、自治体の機能確保のための人員の確保等、区の体制について問う。

**答** 感染拡大防止と社会機能維持の観点から、新型インフルエンザが更に流行する事態でも、区の重要業務を継続するための業務継続計画の策定に、早急に取り組んでいく。



新型インフルエンザ啓発ニュース

**問** 区民の健康維持、増進の受け皿として総合型地域スポーツクラブの拡充が求められている。その活動拠点となるスポーツ施設及びクラブハウスの今後の整備について、区の取組みを問う。

**答** 活動拠点施設の整備は今後、学校施設の整備を検討する。クラブの開設は地域性等も考慮し、関係団体、地域と順次調整を進める。北区には1箇所もない病児保育を整備し、病後児保育との連携ができる体制を構築し、子育ての負担軽減

**問** 病児保育は病後児保育以上に医療との連携が確保できる体制が求められる。利用者らが安心して子育てができる環境を早期に整備できるように取り組む。

**答** ゲリラ豪雨により赤羽台三丁目地域等で床上・床下浸水事故が発生。雨水対策を早急に行う必要がある。浸水発生地域の下水道貯留機能増強等を国や都に働きかける。また被害発生地域の現状を調査し、きめ細やかな対応に努めていく。

#### 経営改革を推進すること 商店街対策「負けてたまるか」



自由民主党議員団  
藤田 隆一

**問** 今後も経営改革が推進される進展ができるのか問う。

**答** 「計画的・効率的な行政運営の推進」を定めた行政改革を進め、柔軟で強靭な行政体質を築き、簡素で機能的な組織・機構を実現するとしている。今後も基本構想の原点に立ち返りつつ、内部努力の徹底と役割分担の見直しを進め、必要な経営改革に取り組んでいく。経営改革を急ぐあまり、区民の安心・安全を損なう



王子駅周辺石神井川

**問** 拙速な状況を生じないよう、しっかり取組んでほしい。

**答** 経営改革を進めるにあたっては、区民サービスの向上を踏まえながら安全かつ安心、良質なサービスが確保されるよう取組んでいく。区民の財産である王子駅周辺の整備の最中、大打撃、大損失である。区民の悲哀を無にするのではなく、JRと都にしつかりと申入れ、提携を深めるよう強く望む。現在、石神井川の水質等

**問** 調査を実施し、その結果を踏まえ、平成22年度から臭気対策実験を行う予定。今後ともJR及び都と一層の連携に努め石神井川の水辺環境改善に取り組んでいく。保育所待機児数が昨年比の3割増しと報道されている状況も踏まえて、公設民営の保育施設を認定保育所でも進められるようにすべきと考えるがいかがか。

**答** 区が認定保育所を設置し、民間事業者が運営を任せる方法には施設整備費補助制度が利用できない等の問題


**問** があるが、民間の活力を最大限に活用して認定保育所の整備に取り組んでいく。どここの商店街にも「機会振興を図る方策として、商店街へ負けてたまるか商店街支援金」を検討してはどうか。

**答** 商店街の自主性や主体性は引出す手法で、活性化を図る必要があると考え。緊急景気対策の一環として、商店街の活性化を推進する取組みに対し、柔軟に支援できる仕組みを検討する。

### 各会派の代表質問

右の質問以外にも掲載しきれなかった質問がありました

スペースの都合上、代表質問の全ての質疑を掲載することができません。ここでは、そのほかの質問の要旨のみ掲載します。



#### 介護保険の実施状況と課題を問う 学校教育の実情と課題について



あすか新生議員団  
石川 清

**問** 本年4月以降新基準で実施された介護認定の実績と課題を問う。

**答** 要支援1の割合が減少し、要支援2、要介護1が増加し、事業者やケアマネ等の協力で混乱なく対応できた。

**問** 施設入所者に比べ一人暮らし等が軽度で判定される傾向が指摘されているか。

**答** 単身・老老介護、介護休暇の現状を把握している。高齢者保健福祉計画では在宅介護家族の負担軽減のため在宅サービスの充実を掲げており、取組みを強化

#### 中小零細企業振興を行政の重点に 太陽光発電装置の導入について



民主区民クラブ  
鈴木 隆司

**問** 区長は区議・都議の経験を生かし、権限委譲による基礎的自治体の実現等花川カライをもっと打ち出すべき。権限とそれに見合う財源を確保し、区の特徴を生かした魅力創出、区のカラーを出すことに全力で取り組む。行政に対し若い男女の家庭作りへの期待がある。結婚相談が社会福祉協議会等で受けられるよう提案する。近年の社会状況を踏まえ、行政としてどのように関わるか、他区の事例等を参考



太陽光発電パネル

**問** 北区内産業の振興を旨とし、区内産業の特色ある振興条例を早急に制定すべき。

**答** 既に条例を制定している。望みによる。商店街の活性化に関する条例との関係も聞き検討していきたい。

**問** 区内小中学校、保育園や本庁舎等に太陽光発電装置を設置してはどうか。

**答** 太陽光発電パネルはかなり重く、耐震性に問題のない建物等には設置できない。

**問** ため、建替え等に合わせた機器の導入を進めていく。全国市長会を通じて、産科医、小児科医等、周産期医療充実のため、在来病院にも産科を設置するよう国に強く要望したらどうか。

**答** 特別区長会で医師不足解消、周産期医療ネットワークの整備や連携強化等を求め、緊急要望書を所管大臣にも提出した。全国市長会でも地域医療保健に関する要望を国に対し行った。

**問** 冬を待たずに流行の兆しを見せている新型インフル

**問** エンザ対策として北区は特別な体制を整えているか。

**答** 区長を本部長とする「北区危機管理対策本部」を設け、全庁一丸となつて対応してきた。今後感染拡大防止のため全力で取り組む。今後は通称「弁天通り」に、まず、電線地中化の計画を決定したらどうか。

**答** 提案のあった今後整備する都市計画道路については、費用対効果を検証した上で、電線類の地中化を検討していく。

**問** し現状把握に努めていく。新設された短期の介護休暇の活用も注視していく。

**答** より良い介護サービスを受けるためにケアプランの主体的作成を問う。

**問** 自己作成は制度上認められるがケアマネが専門的に作成するため普及していない。希望者がいれば課の窓口で相談に応じていく。

**問** 清水小では国語科を通じて、生徒の成長や教師の教育力の向上等優れた成果を上げた。国語科の充実を通して読書習慣や学校図書館の充



清水小学校

**問** 実を求める。

**答** 家庭との連携を深め、読書習慣が身につくよう各学校に指導をしていく。また、蔵書管理システム構築等中央図書館と連携を強化し、校図書館充実を図っていく。

**問** 第三次適正審ではサブファミリー構想が強く出ている。学校ファミリー構想の理念と、少子化による学校適正配置の考え方を丁寧に学校ファミリーは近隣複教校が協力し質の高い教育を目指すもの。一方、学校

**問** 適正配置は適正規模を踏まえ教育環境向上、より良い教育環境の保障を目指すもの。区民が正しく理解できるように丁寧な対応に努める。我が国の新型インフルエンザ対策はワクチンにおいてもその予測についても十分な状況である。教育委員会の対応を問う。

**答** 学校等に対する予防対策の指示、連絡体制の再点検休業規則改正等様々な対応を行った。今後も危機管理室、保健所と連携を図り適切な対応をとる。

**自由民主党議員団**  
藤田 隆一

- ・ 地方分権はどこまで進んでいるのか
- ・ 区の将来像を推進するための財源は十分か
- ・ 財源の確保と税制改革について
- ・ 区の将来展望の中に水道事業を組み入れること
- ・ 環境力の推進について、区のスタンスは
- ・ 商品券の有効性、その調査結果について
- ・ 子育てにこころやすポット事業の現状と課題について

**公明党議員団**  
上川 晃

- ・ 広告収入拡大について
- ・ 住宅用火災警報器の設置に伴う、マンションの災害訓練のあり方について
- ・ 特定健診及び特定指導のあり方について
- ・ 自治会・町会の支援について
- ・ 婚活支援について
- ・ 乳幼児の防災対策について
- ・ 発達障がい児の支援策について
- ・ 広域避難場所の整備とあり方について

**日本共産党北区議員団**  
八巻 直人

- ・ 労働者派遣法の抜本的改正について
- ・ 障害者自立支援法の応急負担軽減について
- ・ 福祉・介護・教育等新たな雇用対策を追加すること
- ・ 大規模店の出店規制を、層の介護従事者に対する、層の待遇改善を図ること
- ・ 潜在需要も見込んだ積極的な保育計画の策定を
- ・ 都営住宅建替えにあたり移転費を入居者に負担させないよう都に求めること

**民主区民クラブ**  
鈴木 隆司

- ・ 区内中小零細企業振興や商業者を支援するための職員体制の確立をすべき
- ・ 区や関係機関の車賃換え時にはハイブリット車を
- ・ 建築確認の際に太陽光発電導入効果を説明し利用促進を
- ・ 区内業者に太陽光パネルを発注し景気対策を
- ・ 医師の育成や確保のための区長の考えは
- ・ 特定不妊治療薬の助成について

**あすか新生議員団**  
石川 清

- ・ 今回の政権交代や都における政治変革により、各区で政策の変更が考えられるが、まちかどトーク等における区民の意思が基本計画に誠実に反映しているのか
- ・ 赤羽駅東口周辺住民が中心となり、にきわいの拠点づくりや住環境の整備に向けて仮称まちづくり協議会の現在の状況を問う
- ・ 赤羽西地区都市計画道路補助第73号線の整備が順調だが21年度の工事予定を問う



### 個人質問



北区議員 相楽 淑子

都市型集中豪雨対策の強化を8月に発生した被害をふまえて

8月9日 10日に発生した集中豪雨の被害状況について区はどう把握しているのか。被害発生原因についてどう捉えているのか。被害状況については、区への陳情、消防署からの情報、見舞金支給の報告書等をとりとまとめている。今回の浸水被害発生原因は、赤羽地域において下水道の処理能力を超える降雨が短時間に集中したことによる

### 議会の動き

7月 14日 地域開発特別委員会 区議会だより編集委員会 区議会だより第23号について

9月 30日 防災対策特別委員会 事務事業の概要と現況説明

17日 健康福祉委員会 議案審査 東京都北区立児童館の指定管理者の指定について

10月 30日 庁舎のあり方検討特別委員会 視察 福生市役所 視察のまとめ

代表質問用語解説
2ページ パンデミック 感染症が世界的規模で流行すること
※病児保育 児童が病気の回復期に至らない場合であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合において、病院・診療所保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育すること



## 議決した議案等

党派名と議員数 自：自由民主党議員団（13） 公：公明党議員団（10） 共：日本共産党北区議員団（9） 民：民主区民クラブ（7）  
 あ：あすか新生議員団（4） 社：新社会党議員団（1）

		議案名	概要	自	公	共	民	あ	社	議決結果
決算の認定		平成20年度東京都北区一般会計歳入歳出決算の認定について	6面の決算特別委員会における各党派の態度要旨をご覧下さい。	○	○	×	○	○	○	認定
		平成20年度東京都北区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について		○	○	×	○	○	○	認定
		平成20年度東京都北区用地特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	認定
		平成20年度東京都北区中小企業従業員退職金等共済事業会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	認定
		平成20年度東京都北区老人保健会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	認定
		平成20年度東京都北区介護保険会計歳入歳出決算の認定について		○	○	×	○	○	×	認定
		平成20年度東京都北区後期高齢者医療会計歳入歳出決算の認定について		○	○	×	○	○	○	認定
条例		東京都北区立ふれあい館条例の一部を改正する条例	東京都北区立堀船東ふれあい館と東京都北区立堀船西ふれあい館とを統合して、新たに東京都北区立堀船ふれあい館を設置する	○	○	○	○	○	○	可決
		東京都北区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	学童クラブの名称及び実施場所を規定する	○	○	○	○	○	○	可決
		東京都北区立幼稚園条例の一部を改正する条例	東京都北区立としま幼稚園を廃止する	○	○	○	○	○	○	可決
その他		北区総合防災情報通信システム整備工事請負契約	契約相手:株式会社日立国際電気 契約金額:4億5,601万5,000円	○	○	○	○	○	○	可決
		仮称赤羽自衛隊跡地公園整備工事(その2) 請負契約	契約相手:日比谷・日本製紙建設共同企業体 契約金額:5億400万円	○	○	○	○	○	○	可決
		明桜中学校新築電気設備工事請負契約	契約相手:ワーデン・花形建設共同企業体 契約金額:2億6,985万円	○	○	○	○	○	○	可決
その他		明桜中学校新築空調設備工事請負契約	契約相手:石井・山本建設共同企業体 契約金額:2億3,631万5,000円	○	○	○	○	○	○	可決
		東京都北区立袋児童館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称:株式会社日本保育サービス	○	○	×	○	○	×	可決
		東京都北区立八幡山児童館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称:社会福祉法人東京聖学院	○	○	○	○	○	▲	可決
予算		平成21年度東京都北区一般会計補正予算(第2号)	24億704万5,000円の増	○	○	○	○	○	○	可決
		平成21年度東京都北区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	1億7,677万9,000円の増	○	○	○	○	○	○	可決
		平成21年度東京都北区介護保険会計補正予算(第1号)	5億5,172万8,000円の増	○	○	○	○	○	○	可決
		平成21年度東京都北区後期高齢者医療会計補正予算(第1号)	1億1,509万7,000円の増	○	○	○	○	○	○	可決
その他		東京都北区教育委員会委員任命の同意について	森岡謙二氏	○	○	○	○	○	○	同意
		東京都北区監査委員選任の同意について	藤宮滋雄氏	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案	意見書	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	提出先:内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣	○	○	○	○	○	○	可決
		議案名	概要	自	公	共	民	あ	社	議決結果

※採決時は、議長（民主区民クラブ）を除きます。

○：賛成 ×：反対 ▲：棄権退場

# 平成20年度決算を認定しました

平成21年第3回定例会において、平成20年度決算を審査する特別委員会を開設し、各会派が決算に対する態度を表明しました。ここでは、その要旨をお伝えします。

## 自由民主党議員団

平成20年度の経済状況は世界不況の影響で、国内外で経済の伸び悩みが生じ、日本全体運営の根幹である税収不足が続き、国の財政や地方財政にも当然影響を及ぼした年であった。都の20年度予算編成もマナスが生じ、北区の財調にも大きな影響があり、歳出抑制を余儀なくされる中で、区の基本方針・基本姿勢を堅持したことは、高く評価する。

また、内部努力を推進し「北区経営改革プラン」に基づき内部努力の徹底や事務事業の見直し等を実施し自立した持続可能な行政を取組んだことも評価する。各分野でも北区中期計画を踏まえ「子ども・かがやき戦略」「元氣・いきいき戦略」「花\*みどり・やすらぎ戦略」「安全・安心」・快適戦略の4つの基本施策を積極的に推進し「区民とともに」の実現に取り組んだことは評価する。

しかし、いづこで起きるかわからない自然災害への対応とその備えは重要であり、地域防災のあり方等は再度点検することを求める。同時に災害用マンホールの必要性は、区側も認識し適時整備してきたことは評価するが、災害時には予測がつかない事態が生じることもあり、積極的に推

## 公明党議員団

平成20年度の景気後退による嵐のような経済情勢はいまだ続いており、更に北区においては本年度23区で高齢化率1位になった。このような情勢の中、適切な判断と長期的展望を見通した持続可能な施策選択と集中が重要となつてくる。

平成20年度一般会計並びに各特別会計決算は、「区民とともに」の基本姿勢のもと、「子ども・かがやき

戦略と「元氣・いきいき戦略」を最重点とし、健全財政を堅持しつつ、意欲的に課題解決に取り組む、持続可能な行政システムの推進に区は努めてきた。具体的には、75歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種の無料化、学力パワーアップ事業の大幅な拡大、小中学校の冷房化等学習環境の整備、特別支援教育推進計画に基づく校内体制の整備、親育ちサポート事業、中小企業金融融資対策等公明党が予算要望等で求めてきた事業への幅広い取組みを高く評価する。

## 日本共産党北区議員団

以下、実現に向け、なお一層の努力を求め、第一、区財政の健全経営改革プランの更なる推進。第二、公共施設マネジメントの推進。第三、医療と介護の連携を促進。第四、がん検診事業の速やかな拡充。第五、在宅介護支援策の拡充。第六、総合的な自殺対策の実施。第七、雇用創出事業や中小企業支援の拡充。第八、小中学校での法教育・健康教育の実施。第九、低所得者への地デジ対応の実施。

以上により、一般会計及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

戦略と「元氣・いきいき戦略」を最重点とし、健全財政を堅持しつつ、意欲的に課題解決に取り組む、持続可能な行政システムの推進に区は努めてきた。具体的には、75歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種の無料化、学力パワーアップ事業の大幅な拡大、小中学校の冷房化等学習環境の整備、特別支援教育推進計画に基づく校内体制の整備、親育ちサポート事業、中小企業金融融資対策等公明党が予算要望等で求めてきた事業への幅広い取組みを高く評価する。

## 民主区民クラブ

区は、地域の活性化等に期待したい。福祉や安全・安心のまちづくり、文化発信の諸施策等、全体として評価する。しかし、指摘と要望を行ったインフルエンザ対策、区有施設耐震化、消費者行政、安全・安心パトロール、たばこ、住宅、観光行政、職員の接遇、就学前発達障害児の取組み、学力テスト等については今後の取組みに充分留意してほしい。

以上により、一般会計及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

第三に、「区民とともに」を強調しながら区民意見をないがしろにし、徹底して区民参画を保障する姿勢こそ大事時に、庁舎のあり方専門委員会での結論を急ぎそれを区民と議会に押し付けようとする姿勢。第四に、公的住宅の新規建設に不熱心な姿勢や区営住宅の家賃値上げを実施しようとするなど。第五に、少人数制に対し消極的な姿勢。第六に、国民健康保険事業会計については保険料を値上げしたこと、介護保険費が計画を3年間で10億円も下回る、異常な介護保険運営を続けてきたこと等、後期高齢者医療会計については速やかな廃止を求める。以上により、一般会計及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

## あすか新生議員団

北区は、経済不況対策として中小企業者の資金繰り支援等に努め、子ども、教育分野では、学校改築工事等を推進し、待望の中央図書館も開館した。また、コミュニティパスのモデル運

行は、地域の活性化等に期待したい。福祉や安全・安心のまちづくり、文化発信の諸施策等、全体として評価する。しかし、指摘と要望を行ったインフルエンザ対策、区有施設耐震化、消費者行政、安全・安心パトロール、たばこ、住宅、観光行政、職員の接遇、就学前発達障害児の取組み、学力テスト等については今後の取組みに充分留意してほしい。

以上により、一般会計及び6特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

## 新社会党議員団

一般会計は緊急臨時直接雇用の試み等は評価する。しかし、官製ワーキングプアを生み出す非常勤職員、臨時職員の多用と、外部化された職場については強く改善を求める。

介護保険会計は23区の中で最も厳しい認定が20年度も改善されず、介護事業者、介護職員への支援も弱い。以上により、介護保険会計に反対、一般会計及び他5特別会計決算の認定に賛成する。

行は、地域の活性化等に期待したい。福祉や安全・安心のまちづくり、文化発信の諸施策等、全体として評価する。しかし、指摘と要望を行ったインフルエンザ対策、区有施設耐震化、消費者行政、安全・安心パトロール、たばこ、住宅、観光行政、職員の接遇、就学前発達障害児の取組み、学力テスト等については今後の取組みに充分留意してほしい。

◎根本はじめ ◎横溝加代子  
◎青木 博子 ◎池田 博一  
◎宇野 修 郎 ◎金子 泰子  
◎大野 修 郎 ◎太田 幸子  
◎近藤 光 則 ◎相楽 淑子  
◎佐藤 有 恒 ◎鈴木 隆司  
◎土屋 研 敏 ◎福島 大幸  
◎野々山 敏 研 ◎山本 正則  
◎福田 実 敏 ◎山田 勝彦  
◎八幡川 孝 ◎山田加奈子  
◎委員 長 ◎副委員 長





福生市役所で説明を聴取

○視察を行いました。  
福生市役所新庁舎建設について、福生市契約管理課長から説明を聴取し、福生市役所庁舎を視察しました。

9月30日  
○勉強会を行いました。  
建物の耐震性と耐震対策について、東京理科大学工学部第二部建築学科教授から講義を受け、理解を深めました。

庁舎のあり方  
検討特別委員会

9月3日

7月30日  
○説明会を行いました。  
王子駅南口の汚水排水問題について、東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部長、東京都下水道局計画調整部長から説明を聴取しました。

建設委員会

委員会の特徴的な活動をお知らせします



決算特別委員会

9月25日・28日・29日・10月1日・2日・5日・6日

○決算を審査する特別委員会を設置しました。各会派の態度は6ページをご覧ください。

○議会には本会議と委員会があります

議会の最終的な意思決定（議決）は、本会議で行われますが、この本会議の予備審査機関として委員会が設けられています。このような委員会制度をとるのは、本会議ですべての問題を議論するよりも部門（所管）ことに分かれて専門的に審査を行った方が能率的で、より深い議論ができるからです。

○議会は審議能力の向上に努めています  
議会は、審査の参考にするために、必要に応じて議員を視察に派遣することができます。また委員会は審査や調査に必要があるときは、委員を視察に派遣することができます。また、国や都の職員や専門家を招いて、説明会や勉強会を開くこともできます。

健康福祉委員会

10月15日～16日

○管外視察を行いました。

静岡県浜松市では発達障害相談支援事業の事業概要及び施設設置の経緯について、浜松市子育て支援課主査から説明を聴取し質疑を行いました。また同市発達相談支援センター「ルビロ」の施設の概要、事業内容、市民・利用者からの要望及び今後の課題について、同センター副主幹から現場で説明を聴取し質疑を行いました。

愛知県北名古屋市では市立東図書館において、回想法事業について、回想法事業の経緯及び事業内容、市民・利用者からの反響及び要望、今後の取り組み及び課題について、北名古屋市高齢福祉課長から説明を聴取し質疑を行いました。

また、館内の一角にあり、回想法実施において貴重な資料が収蔵されている歴史民俗資料館（昭和日常博物館）の視察も行い、あわせて回想法センターを視察しました。



昭和日常博物館で回想法に活用する資料を見学

企画総務委員会

10月20日～21日

○管外視察を行いました。

京都府亀岡市ではセーフコミュニティ事業の実施の経緯、具体的な内容・実績、効果・成果、今後の課題について、亀岡市企画管理部企画政策課長から説明を聴取し、事業の概要をまとめた映像を視聴し質疑を行いました。セーフコミュニティとは、事故やけがは偶然の結果でなく、予防できるという理念のもと、地域住民・NPO・行政等が協働して科学的視点を用いて予防法を確認し、改善につなげていく取り組みです。

大阪府大阪市では総務事務アウトソーシングに關し、庶務業務を一元的に処理する総務事務センターを設置・委託した経緯、総務事務の運営体制、効果・成果、今後の課題について、大阪市総務局人事部長から説明を聴取し質疑を行いました。

ここでは市会議場の視察も行いました。



大阪市役所で説明を聴取

建設委員会

10月21日～22日

○管外視察を行いました。

長崎県長崎市では斜面地のまちづくりに関し、長崎のなみち及び現状と問題点、斜面市街地の整備促進に関する条例、取り組み事例、今後の課題等について、長崎市都市計画部まちづくり推進室参事ほか1名から説明を聴取し質疑を行いました。また同市南大浦地区において住民の足とつながっている斜行、垂直エレベーターに乗り、車が入らない細街路や階段で構成された居住地や実際に整備され車が通れるようになった道路等を視察しました。

福岡県北九州市では紫川マイトウン・マイリバー整備事業に關し、事業の概要、紫川を中心にしたまちづくり、今後の課題等について、北九州後援都市局整備部都心・副都心開発室長から説明を聴取し質疑を行いました。また民間と行政が協力して整備した河畔プロムナード（遊歩道）や勝山橋等を視察しました。



紫川河畔プロムナードを視察

文教委員会

10月22日～23日

○管外視察を行いました。

兵庫県西宮市では学校図書館のデータベース化とネットワーク化に関し、小中学校のコンピュータによる蔵書管理、学校間相互貸借システムの導入、司書教諭の配置、市立図書館とのネットワーク化等について、西宮市教育委員会学校教育グループ長及び同指導主事ほか1名から説明を聴取し質疑を行いました。

愛知県知多市では子ども体力向上実践事業に關し、事業実施の経緯、事業内容及び経費、地域や家庭との連携、事業の効果や子どもの反応、今後の展開・取り組みについて、知多市生涯スポーツ課長ほか1名から説明を聴取しました。

また、同市立新知小学校において、同校の「スローガン」知徳・体プラス食による調和のとれた教育や目標値を定め達成度を評価する「新知っ子検定」等について、同校長ほか2名から説明を聴取し質疑を行いました。



市立新知小学校を視察

**結果の出た  
請願・陳情**

**採択されたもの**

○北区耐震改修助成金見直しに関する件 請21・1  
○義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する件 陳21・11

○北区次世代育成支援行動計画における子育て広場(つどいの広場)の実施を求める件 陳21・12  
▽趣旨に沿うよう努力すること

▽は、採択された陳情に付された意見

◎なお、その他の陳情は継続審査となりました。

**可決した意見書**

**○義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書**

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を図る上で極めて重要な制度として、わが国の教育の発展に大きな役割を果たしており、現行教育制度の根幹をなすものである。学校教育は、多くの職種の職員が協力しあって成立している。事務職員及び栄養職員も、学校教育を円滑に推進する上で極めて重要な役割を果たしており、学校運営上欠くことのできない大切な担い手であり、その充実が求められている。国の財政的な保障が担保されなければ、教育条件の地域間格差をもたらすし、教育の機会均等の保障、良好な教育環

境の維持が困難となり、憲法や教育基本法が保障する義務教育制度の理念に反すると言わざるを得ない。義務教育の確保は、国の責任で行われるべきであり、これを実質的に担保しているのは、義務教育費国庫負担金である。よって、本区議会は政府に対し、教育に対する必要な財源の安定的確保を図り、わが国の将来を担う子どもたちの健全な育成のため、学校事務職員及び栄養職員の給与費負担の適用除外をすることなく、義務教育費国庫負担制度の堅持を強く求めるものである。右、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

※区議会は公益に関することについて、国、都などの関係行政機関及び国会に意見書を提出することができます。議員及び委員会は、意見書を議会に提案することができます。

**政治倫理審査会の  
公選委員が  
決まりました**

議員提出議案第〇号  
〇〇意見書  
右の意見書を〇〇の規定により提出する  
平成〇年〇月〇日  
提出者  
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
東京都北区議会議長 殿

審査会公選委員選考委員会(区議会議員5名、区議会事務局2名の7名で構成)において選考を行い、左記の方々を政治倫理審査会公選委員として決定しました。  
なお、審査会全体の構成については次号でお知らせいたします。

- 植村直子氏
- 奥田昭夫氏
- 戸谷純生氏



**北区議会からのお知らせ**

北区議会では「開かれた議会」を推進するため、様々な取組みを行っています。  
平成21年第1回定例会からは、インターネット録画配信の放映範囲を拡大し、代表質問だけでなく個人質問もご覧いただけるようにいたしました。  
また、委員会の開会に先立つて区議会ホームページに委員会の審査・報告案件を公開しています。



**次回定例会のお知らせ**

平成21年第4回定例会は、11月26日から12月8日までの13日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前10時開会予定です。  
11月27日(金)本会議は都合により開会されない場合があります。傍聴を希望される方は区議会事務局までお問い合わせください。

11月26日(木)	本会議
27日(金)	本会議
12月1日(火)	区民生活委員会
2日(水)	建設委員会
3日(木)	健康福祉委員会
7日(月)	文教委員会
8日(火)	企画総務委員会 議会運営委員会 本会議

**議会放映をケーブルテレビでぜひご覧ください**

平成21年第4回定例会本会議の代表質問の様子を北9チャンネルで録画放映します。  
放映予定日時  
12月6日(日)  
午前10時～5時間程度  
12月7日(月)11日(金)  
午後10時15分～  
1時間程度(再放送)

区議会だより編集委員会  
〒114-8508 北区王子本町1-15-22  
TEL (3908) 9949  
FAX (3908) 0600  
北区のホームページ  
(http://www.dtr.kitakyodai.jp/)  
「北区議会」からご覧いただけますのでご利用ください。



**傍聴席をバリアフリーにしました**



傍聴席車椅子専用スペース



傍聴席出入口の手すり

本会議場傍聴席の改装工事を、車椅子の方でもご利用いただける専用の傍聴席を配置いたしました。また、傍聴席出入口には手すりを設置し、利用しやすいつくりにいたしました。議場で開かれる会議を傍聴したい方は、区議会事務局(区役所第一庁舎4階)で傍聴券の交付を受けてから、傍聴席(6階)へお入りください。受付は会議開会の当日に先着順で行います。本会議場の傍聴の定員は70名です。